

家庭菜園でおいしい野菜を作ろう

ぼく達が作った野菜はすごくおいしいよ



自然の中の貸し農園

片岡 邦恭・敦子さん(若葉)

片岡さんご一家は、柏原地区で30㎡の農園を借り、野菜を作っています。休日には優佳ちゃん(10歳)・静香ちゃん(6歳)・義貴くん(4歳)を連れて、車で片道約30分の道のりを畑へと向かいます。

子ども達に安全でおいしい野菜を食べさせたいという思いから、10年前に手探りで始めた野菜作り。今、畑には、とうもろこし・かぼちゃ・落花生・ピーマンが元気に育っています。「人参やトマトは味が濃く、とうもろこしはもぎたてを生で食べると甘くて最高においしいです」と話される奥様。子ども達は、草むしりや収穫のお手伝いをする一方、虫取りや泥遊びも楽しみにしています。畑には農薬を使っていないため、いろんな虫がやってきます。好奇心旺盛な子ども達には、自然の中で多くの発見があるようです。

ご夫妻は「野菜作りは、手間を掛けると良いものができますが、過保護すぎると逆効果です。子育てと同じですよ」と笑顔で語られました。

柏原村づくり推進協議会の貸農園

《場所》柏原地区
《料金》年間1区画(30㎡)=8,000円
問い合わせは、同協議会(769-0646)へ。



トマト・きゅうり・なす・オクラ・ピーマン・・・今、太陽をいっぱい浴びた夏野菜が旬です。また、家の庭で野菜を作っているお宅もあちらこちらで見かけます。

今回は、「おいしい夏野菜を自分で作りたい!」そんな皆さんに家庭菜園で野菜を上手に作る方法を大公開!そして、3カ所のすてきな家庭菜園も紹介します。



思い思いに菜園を作ろう

野菜作りは、広い畑でなくても、植える作物を選ぶことで、庭の一角やプランターでも楽しむことができます。最近では、花と野菜をいっしょに植えて目でも楽しむキット「ガーデンも人気です。また、もう少し本格的に作ってみたいという人には、農家が一般の人に畑を貸す「貸し農園」があります。

柏原地区の農家で結成した「柏原村づくり推進協議会」は、10年前から、野菜作りをしたい人に畑を提供しています。休みともなると家族連れなど、畑仕事を楽しむ人々が訪れています。

農家の人に聞く!

「うまく野菜ができない」「せっかくできて虫に喰われてしまう」「夏場の水やりが大変」など、悩みをお持ちの方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで、道の駅いながわに出荷されている、島地区の植村芳之さん・律子さんご夫妻に、野菜作りのコツを教えていただきました。



手入れの行き届いた植村さんの畑

野菜がすくすく育つ庭

野菜がすくすく育つ庭

藤村 征八郎さん(紫合)

猪名川荘園に住む藤村さんの庭の畑では、今、トマト・ニラ・きゅうり・いんげんなどが育っています。

15年前、家庭菜園のできる環境を求めて藤村さんは、猪名川町に移り住みました。土を深く掘り起こし、石を取り除き、畝を作った本格的な畑。農家の人に教わって、種からさまざまな野菜を作ってきました。今では、多くの野菜が収穫できるようになり、家族も喜んでいきます。先月は畑で作った赤シソで、梅干を漬けました。

藤村さんは「自分で作った野菜は格別なおいしさです。収穫が多いときには、遠くに住む兄弟に宅配便で送って喜ばれました」と嬉しそうに語られました。



▲やりのいいある趣味です

気軽にできるベランダ菜園

辻 安紀子さん(若葉)

マンションの6階に住む辻さんは、ベランダにプランターを並べ、バジル・ニガウリ・プチトマトを育てています。

部屋から見えるベランダの野菜は、涼しげでインテリアのようにすてきです。辻さんは「ベランダでの野菜作りは、虫の発生も少なく気軽にできます。ただ、強い風が吹く時には用心のため移動させます」と話されました。

また、収穫した野菜を使って料理をされる辻さんのお気に入りのメニューは、バジルペースト。バジル・にんにく・松の実・オリーブオイルをペースト状にし、パスタやサラダと合えます。とてもおいしいと、ご家族にも大好評だそうです。



▲ニガウリのツルが伸びてきました

肥料は どうしたらいいの?

最初の土作りが一番大切です。牛糞などの元肥をしっかりと混ぜておきます。葉の色が薄くなり元気がなくなったら、即効性のある液肥や肥料を、栄養を一番吸収する根の先端付近に施します。

害虫対策は?

雑草が茂っていると虫が多くなるので、除草をします。バークを敷き詰めると、雑草が生えにくくなります。新芽の頃に虫が付きやすいの

水やりの仕方は?

水やりは朝夕に。土の表面が白く乾かないように、根の先にたつぷりと。畝を作っている場合は、谷に水を流すのも効果的です。

敷きワラや、マルチング、バークを敷き詰めたりすると水分の蒸発を防ぐので、水やりが楽になります。

摘心・芽摘みが大切!

トマトやきゅうりなどは2mほどの高さになったら、成長している先端部分をカットして徒長を防ぐ摘心をする、果実が充実します。トマトは、葉の付け根から出るわき芽を摘み取り1本仕立てにし、栄養分を実に行き届かせます。また、実の数が多すぎ

雑草が茂って大変!

で、薬をかけるならこの時期に。新芽を不織布(ふおりぬ)で覆うと虫を通しません。

夏野菜が終わったら

土に石灰をいれ消毒し、堆肥を十分混ぜて、土作りをします。冬野菜は白菜・キャベツ・大根・にんじん・春菊などがお勧めです。

ねぎやニラなどは根元を残して摘むと、またそこから生えて何度でも収穫できるので、残しておきましょう。

「クリーンセンター」の堆肥とバークの無料配布

生ごみからできた堆肥と剪定屑からできたバークを無料で配布しています。

毎週火曜午前9時〜午後

後編 編集



無農薬で育てること、味へのこだわりです。また、無心で畑仕事をしていると日常のストレスを忘れ、心が癒されると話される人もいました。

家庭菜園は、体にも心にも栄養をたっぷりと与えてくれるようですね。

【いながわ特派員】



▲にこやかに畑仕事について語る植村さんご夫妻

植村さんのお話

こまめな手入れと、虫を手作業により除くことで、農薬はほとんど使用しません。多少虫喰いの跡があっても、それは安全な野菜である証明です。いい野菜を作りたいと常に勉強しています。野菜作りは楽しいですよ。

4時(768・0818)